

→ 今年の御言葉：増殖

1. ヤコブの人生を通して7つのことを学びました。一年を通して実践しましょう。
2. 2019年祝福と増殖があるように信じて、告白して、祈り続けましょう。
3. 増殖の法則：与える賜物
4. 信仰の増殖：復活礼拝
5. 祈りの増殖：祈りのライフスタイル

→ 祈りの増殖#2 神の義のうえ渴き

➤ 義のうえ渴き

マタ 5:6 義に飢え渴いている者は幸いです。その人は満ち足りるからです。

マタイ 6:33 だから、**神の国とその義**とをまず**第一に求めなさい**。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

「義」とは、神様が正しいとされること。神様の御言葉。
神様の御言葉と神様が地を支配される国が地上に来るように祈り続ける時に、満ち足りるとイエス様は教えておられます。

- ✓ 何を一番求めていますか？ お金ですか。名声ですか、仕事ですか。人間関係ですか。趣味ですか。健康ですか
- ✓ どのような方法で求めていますか？

→ この世の中は誰の支配下？

ルカ 4:5 また、悪魔はイエスを連れて行き、またたくまに世界の国々を全部見せて、6 こう言った。「この、国々のいっさいの権力と栄光とをあなたに差し上げましょう。それは私に任されているので、私がこれと思う人に差し上げるのです。7 ですから、もしあなたが私を拝むなら、すべてをあなたのものとしましょう。」
8 イエスは答えて言われた。「『あなたの神である主を拝み、主だけに仕えなさい。』と書いてある。」

エペソ 6:11 悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身に着けなさい。:12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。

悪魔は、神の子たちに自分にひれ伏して従うように誘惑してきます。イエス様にもしたように。しかし神の義を求めるといことは、神の御言葉に従う事です。イエス様は悪魔にひれ伏してこの世の栄光を取られたのではなく、神様に従い十字架にかかり、すべてのひざがイエス様を主と礼拝されたのです。イエス様は私たちがこの世の神にひれ伏して成功を得るのではなくて、神様に従って祝福を得るように示されたのです。神様以外の「義」は、それぞれ自分勝手な「義」です。神様から見れば、的外れであり、「罪」です。「罪」の報酬は死です。

→ 神の国が地上に来ますように祈り求める

ローマ 12:2 この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。

マタイ 6:9 だから、こう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。10 御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。』

この世の悪魔の支配する国から、自分勝手な「義」から、神様の義が満ちる国。神様の支配される国が地上になりますように。リバイバルが起こりますように祈りましょう。

- ✓ 家族が神様に救われて、神様の義によって満ち足り、幸せになるように求めましょう。
- ✓ 貴方の会社や学校が救われて、神様の義によって満ち足り、繁栄するように祈りましょう
- ✓ 社会が救われて、神の義によって満ち足りて、平安の世の中となるように祈りましょう。

➔ 神様に不従順になり災いにあつたら

Ⅱ歴代 7:13 もし、わたしが天を閉ざしたため雨が降らなくなった場合、また、いなごに命じてこの地を食い尽くさせた場合、また、もし、わたしの民に対して疫病を送った場合 14 わたしの名を呼び求めているわたしの民がみずからへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求め、その悪い道から立ち返るなら、わたしが親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地をいやそう。

1. 神様の前で謙遜になり、自分の義が間違っていたと認める。
2. 神様に赦しを祈り求める
3. 自分の義の道から、神の義の道に従う

神様が罪を赦し
癒して下さい

➔ あきらめないで、神様の義を求め続けましょう

I列王記 21:25 アハブのように、裏切って主の目の前に悪を行なった者はだれもいなかった。彼の妻イゼベルが彼をそそのかしたからである。 26 彼は偶像につき従い、主がイスラエル人の前から追い払われたエモリ人がしたとおりのことをして、忌みきらうべきことを大に行なった。 27 アハブは、これらのことばを聞くとすぐ、自分の外套を裂き、身に荒布をまとい、断食をし、荒布を着て伏し、また、打ちしおれて歩いた。 28 そのとき、ティシュベ人エリヤに次のような主のことばがあった。 29 「あなたはアハブがわたしの前にへりくだっているのを見たか。彼がわたしの前にへりくだっているの、彼の生きている間は、わざわざ下さない。しかし、彼の子の時代に、彼の家にわざわざ下す。」

➔ 誰かに悪を行われたら、「自分で復讐しないで、敵を愛しましょう。赦しましょう」

ローマ 12:19 愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする、と主は言われる。」 20 もしあなたの敵が飢えたなら、彼に食べさせなさい。渴いたなら、飲ませなさい。そうすることによって、あなたは彼の頭に燃える炭火を積むことになるのです。

マタ 5:44 しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。

すべてにおいて、神の国と神の義をまず第一に求めましょう。神様が良いとされることでしょうか。

- ✓ 仕事を選ぶ時も、学校を選ぶ時も、遊ぶ時も、買い物する時も、どこかに行くときも
 - ✓ 運転をしている時も【世の中の人が、このスピードで走っているからいいんだ】ではありません。速度の表示を守ることが神様が良しとされることです。
 - ✓ 人にいやなことをされた時も「絶対赦せない、話もしない」ではなくて、【神様の前で祈り、神様の義は「敵を愛する」ことなので、主の助けをかりて行動する】
 - ✓ 罪を犯して、問題が生じた時は、あきらめないで主の前で悔い改めて、神の義を求める道に方向転換しましょう
2. 神の国がこの地になるように祈り求めましょう。リバイバルのために。